

いよいよ高岡市伏木に 糖尿病患者会「万葉友の会」発足！



社会保険高岡病院糖尿病支援チームは、平成20年7月30日、古府公民館において主に伏木地区の患者さんを対象に『糖尿病患者会発足記念会』を開催しました。富山大学第一内科戸邊一之教授の「糖尿病とつきあうコツ」という講演をメインとした会には、患者さんやご家族の方80余名を含む地域の方々100名以上が参加され、大変盛況となりました。糖尿病は厄介な病気ですが、逆に病気を理解し、うまく付き合っていけば、コントロール可能な病気ともいえます。そのためには定期的な通院だけでなく、糖尿病教室への参加・雑誌などの確かな情報、そして患者さん同士の情報交換や励ましあいが必要なものとなります。ひとりで療養生活を送るのではなく、仲間と共に糖尿病に立ち向かって行けば、くじける気持ちを奮い立たせることもできます。このような点から、この患者会「万葉友の会」発足は大変意義あるものと確信します。

Q：なぜ患者会が必要？

A：正しい知識の下に治療を行う
診療の場だけでは聞けないこあり
仲間と共に治療することは大事
患者仲間で情報交換ができる
治療に前向きになれる
日本糖尿病協会に参加できる
経済的にも得である

Q：患者会に入ると得なことは？

A：日本糖尿病協会に入ると
→雑誌「さかえ」が送られてくる
→有益な行事の案内がある

社会保険病院で患者会を作ると
→個人で入会するより年会費がかなり割安

Q：患者会ではどんな活動をする？

A：各種講演会・シンポジウムの開催
県単位・会単位のウオークラリーの開催
小児糖尿病サマーキャンプの開催
重症化した場合の療養相談
支部単位・会単位の活動（食事会・料理教室・
運動教室・ヨガ教室 etc）

患者会にはすでに多くの方にご参加いただいています。ご希望の方は下記にご連絡下さい。

(Tel 44-1181 内科外来 加藤看護師)

糖尿病センター長 小林 正